



## 企業製品

令和5年7月6日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

企業製品は企業の鏡である。オンリーワンと優れた製品とサービスを有することは企業がグローバル市場において唯一の企業としてその安定性を得るのである。

企業の安定性は、企業構築が正しい需要とともに、与えられることである。

また、優れた製品が安価に提供されれば、必ず売れるのである。大量生産体制とともにこれら現実を有すれば世界メジャーとの対等な自己が与えられるのである。

市場を牽引することは製品が優れるからである。これは企業の必題である。

目標は積み重ねにおいてその頂点に至るのである。これが企業努力は結果を生むことである。

計画は誤りがなければ必ず実現する。これが正しい経営判断である。

目標と理想は高ければ高いほどいい。指針は優れることを求め、理解はそれに向かうのである。

現実主義として企業が経営判断を求める時、最もシビアな選択が自己企業製品とサービスを優れたものとするという判断は存在する。

これらは製品と技術に対する理解が、基準と理解において飛躍し、市場を牽引することは可能なのである。

これら視点の転換は現実を変化させるのである。すべての現実は唯一理解との対等性であるからである。

これら今日における知的集約と知的生産性への転換は、すべての企業の現実の進歩を与えるものである。シンプル化とシステム化は、最も優れた効率性と生産性を与えるのである。